

2025（令和 7）年度 事業報告

2025（令和 7）年 4 月 1 日から 2026（令和 8）年 3 月 31 日まで

I. 公益目的事業の概要および実施状況

当法人は、ブレインサイエンス及びそれに関連する分野の学術研究に対する支援を行い、もって学術の発展に寄与することを目的とし、「公 1：助成事業」「公 2：普及啓発事業」の 2 つの公益目的事業を行う（定款第 3 条および第 4 条）。

「公 1：助成事業」の構成は以下のとおりである。

1. 研究に対する助成
2. 研究業績に対する褒賞
3. 研究者の派遣及び招聘に対する助成

また、「公 2：普及啓発事業」の構成は以下のとおりである。

1. 研究会、講演会及びシンポジウムの開催
(塚原賞受賞記念講演会、脳の世紀シンポジウム、世界脳週間)
2. 広報活動
(研究成果報告の刊行、ホームページの充実)

以上の公益目的事業について、2025(令和 7)年度は下記のとおり実施した。

1. 研究に対する助成（公 1-1）

脳科学の広い分野における研究に対する助成、特に、脳のメカニズムを解明する独創的な研究計画の助成に重点をおき、実験研究のみならず、理論、モデリング研究をも含む分野を助成対象とする。当年度は 2025(令和 7)年 7 月 1 日に募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員、生命科学関連の国内研究機関へ送付、及びホームページに記載して幅広く研究助成候補者を募り、締切日(2025(令和 7)年 10 月 10 日)までに 128 件の応募があった。学識経験者で構成される選考委員会が候補者と利害関係のないことを確認のうえで選考を実施した結果、下記 17 件（男 11 名／女 6 名）の助成を決定した。助成額は合計 1,360 万円。

(※) は「研究室立ち上げ後 3 年以内」を示す（計 6 名）

	氏名	所属・職	研究テーマ	助成額
1	いそべ のりこ 磯部 紀子	九州大学大学院医学研究院神経内科学教授	神経免疫疾患における RNA 品質制御機構	80 万円
2	いわた たかみつ 岩田 貴光	堺市立総合医療センター脳神経外科副医長	海馬 Sharp-wave ripple 制御法の確立	80 万円
3	うちだ ゆうと 打田 佑人	名古屋市立大学大学院神経内科学教室研究員（※）	磁化率分離 MRI による脳アミロイド β 定量	80 万円
4	かしわぎ みつあき 柏木 光昭	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構助教	レム睡眠誘導の新規メカニズムの解明	80 万円

5	きむら たえこ 木村 妙子	東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室助教	タウ病理の段階別標的分子解析	80 万円
6	きん きょうへい 金 恭平	岡山大学医学部脳神経外科助教	パーキンソン病難治性疼痛の新たなメカニズム解明	80 万円
7	さだかた てつし 定方 哲史	群馬大学大学院医学系研究科附属教育研究支援センター准教授	抗体の脳移行経路の解明と移行量改善の検討	80 万円
8	とうま けんいち 當麻 憲一	京都大学高等研究院物質・細胞統合システム拠点(iCeMS)特定拠点助教	脳領域特異的な三次元血管網構築機構	80 万円
9	なかじょう はるな 中條 暖奈	国立遺伝学研究所神経システム病態研究室助教	メタロプロテアーゼによる脳 ECM 分解機構の解明	80 万円
10	のだ たかひろ 野田 貴大	九州大学大学院医学研究院疾患情報研究分野助教	環境学習が知覚の境界を生む神経行動基盤	80 万円
11	のりたけ あつし 則武 厚	富山大学学術研究部医学系統合神経科学講座准教授 (※)	霊長類の社会的協力・情動の神経基盤解明	80 万円
12	ますい けんた 増井 憲太	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科統合脳神経科学分野教授 (※)	神経ネットワークから読む膠芽腫の‘幹細胞性’	80 万円
13	みやたけ さとこ 宮武 聡子	滋賀医科大学神経難病研究センター基礎研究ユニット神経遺伝学部門教授 (※)	リビート伸長病のエピゲノム異常の解明	80 万円
14	やまがた のぶひろ 山方 恒宏	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻神経行動学研究室准教授 (※)	選択意思と報酬系ドーパミンシナプス制御	80 万円
15	やまだ かおる 山田 薫	東京大学医学部附属病院認知症共生社会創成治療学特任准教授	アルツハイマー病タウの頭蓋外排出機構の解明	80 万円
16	やまだ たつや 山田 達也	University of Nebraska-Lincoln, Department of Biochemistry Assistant Professor (※)	神経細胞ーアストロサイト間におけるミトコンドリアストレス伝播機構の解明	80 万円
17	よししいけ ゆり 吉池 佑里	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系助教	膜外修飾が神経発達障害に与える影響	80 万円

2. 研究業績に対する褒賞（塚原仲晃記念賞（通称：塚原賞））（公 1-2）

生命科学の分野において優れた独創的研究を行っている当該年度において 50 歳以下の研究者を褒賞対象とする。当年度は 2025(令和 7)年 7 月 1 日、推薦要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員、既受賞者、生命科学関連の国内研究機関へ送付、及びホームページに記載して幅広く塚原賞候補者を募り、締切日(2025(令和 7)年 10 月 10 日)までに 12 件の推薦があった。候補者と利害関係のない財団内外の研究者による書面審査を経て、学識経験者で構成される選考委員会が候補者と利害関係のないことを確認のうえで選考を実施した結果、下記 2 件の受賞を決定した。褒賞額は各 100 万円。

1	かみこうち 上川内 あづさ	名古屋大学大学院理学研究科理学専攻脳回路構造学 教授	求愛コミュニケーションを担う聴覚神経機構
2	むらやま まさのり 村山 正宜	理化学研究所脳神経科学研究センター触知覚生理学研究チーム チームディレクター	大脳新皮質における知覚情報処理機構の研究

3. 研究者の派遣及び招聘に対する助成（公 1-3）

（1）海外派遣研究助成

国際学会・シンポジウムへの参加、あるいは短期間（6 ヶ月以内）の共同研究のための研究者の海外派遣を助成する。当年度は 2025(令和 7)年 7 月 1 日、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載して幅広く派遣助成候補者を募り、締切日(2026(令和 8)年 1 月 9 日)までに 8 件の応募があった。学識経験者で構成される選考委員会が候補者と利害関係のないことを確認のうえで選考を実施した結果、下記 1 件の助成を決定した。助成額は 30 万円。

	氏名	所属・職	研究テーマ・目的
1	ながやす やまだ なつみ 永安(山田)夏実	東京大学大学院薬学 系研究科博士課程 2 年	「ニューロンの維持に関わるエピゲノム機構」 Genome Organization & Nuclear Function / Cold Spring Harbor Laboratory にて研究発表

（2）海外研究者招聘助成

独創的テーマに意欲的にとりくんでいる外国人の研究者の短期間（3 ヶ月以内）の招聘を助成する。当年度は 2025(令和 7)年 7 月 1 日、募集要領を関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載して幅広く招聘助成候補者を募り、締切日(2026(令和 8)年 1 月 9 日)までに 10 件の応募があった。学識経験者で構成される選考委員会が候補者と利害関係のないことを確認したうえで選考を実施した結果、下記 6 件の助成を決定した。助成額は合計 170 万円。

	招聘研究者	受入責任者	研究テーマ・目的	助成額
1	ピーター・ルーフ セマ オランダ神経科学研究 所ディレクター	上口裕之 理化学研究所副セ ンター長／大会長	「視覚皮質から読み解く意識の神経機構」 NEURO2026（兵庫県）におけるプレナリーレク チャー	30 万円
2	ガブリエル・ジラ ルドー ソルボンヌ大学研究員	宮脇寛行 大阪公立大学講師 ※受入責任者含む 大半の登壇者が 40 代以下の若手	「情動回路における不快経験の睡眠時処理」 NEURO2026（兵庫県）におけるシンポジウム講演	28 万円
3	サラ・アカーマン ワシントン大学准教授	杉山（矢崎） 陽子 沖縄科学技術大学 院大学教授	「Activity-dependent regulation of circuit dynamics by astrocytes.」 NEURO2026（兵庫県）におけるシンポジウム講演	28 万円
4	ジゼラ・ヴェテレ パリ市立工業物理化学 高等専門大学-PSL 研究 大学教授・チームリーダ ー	奥野浩行 鹿児島大学教授	「Head-direction-dependent anterior thalamic-cingulate circuitry for systems consolidation of memory（長期記憶固定化に関わる頭部方向依存 的な前部視床-帯状回の神経回路）」 NEURO2026（兵庫県）におけるシンポジウム講演	28 万円
5	リエン・リエン イェール大学アシスタ ントプロフェッサー	松本直之 国立遺伝学研究所 特任助教 ※博士号取得後 11 年目、うち 4 年 間はアメリカ留学 で昨年帰国	「マウス視床の <i>in vivo</i> イメージング解析」 NEURO2026（兵庫県）におけるシンポジウム講演	28 万円

6	ジョセフ・ダルマウ Hospital Clinic de Barcelona 研究教授	西山和利 北里大学主任教授 ／大会長	「Autoimmune Encephalitis: A Journey from Discovery to Novel Clinical Insights, Mechanisms, and Beyond」 第 67 回日本神経学会学術大会（神奈川県）における プレナリーレクチャー	28 万円
---	--	--------------------------	--	-------

4. 普及啓発事業

(1) 講演会等の開催（公 2-1）

当年度は以下①～③の講演会等を開催した。

①「塚原仲晃記念賞」受賞記念講演会

朱鷺メッセ（新潟県）にて 2025(令和 7)年 7 月 24 日（木）午後 3 時 50 分～午後 5 時 50 分、2024(令和 6)年度受賞者 2 名（杉山（矢崎）陽子、藤澤茂義）による塚原仲晃記念賞受賞記念講演会を開催。対象は脳科学関係の研究者。

②「脳の世紀」シンポジウム

オンライン配信（Zoom）にて 2025(令和 7)年 10 月 18 日（土）午前 10 時から午後 4 時 20 分まで「脳とニューロテクノロジー」をテーマに「脳の世紀」シンポジウムを NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。対象は一般市民。事後オンデマンド配信も 10 月 25 日（土）～11 月 25 日（火）に実施。

「特別講演：社会に貢献する脳科学とブレインテック」

川人光男（株式会社国際電気通信基礎技術研究所（ATR）脳情報通信総合研究所 所長）

「脳を知る：記憶や情動を司る神経回路メカニズム」

佐々木拓哉（東北大学大学院薬学研究科教授）

「脳を守る：Brain-Machine Interface による脳機能再建」

柳澤琢史（大阪大学大学院医学系研究科神経情報学教授）

「脳を創る：人工意識の探究」

金井良太（株式会社アラヤ代表取締役）

「脳を育む：QOL 向上を目指した脳内表象の個人差可視化と改変」

吉村奈津江（東京科学大学情報理工学院教授）

③「世界脳週間」の開催

「世界脳週間」を NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。

2025(令和 7)年度は夏から冬にかけて全国の下記 13 会場にて開催。

13 会場のうち 11 会場がオンサイト、1 会場がオンライン、1 会場がオンサイト・オンライン同時開催にて公開講演、討論、病院や研究所の公開などを実施。対象者は中高校生及び学校関係教職員と一般市民。参加費無料。

（オンサイト開催） 東山高等学校、山梨大学医学部、国立精神・神経医療研究センターユニバーサルホール、岡崎コンファレンスセンター大隅ホール、理化学研究所和光地区、市立札幌開成中等教育学校、市立札幌新川高等学校、桜蔭高等学校、名古屋市立大学、奈良女子大学中等教育学校多目的ホール、東北大学片平キャンパス生命科学プロジェクト総合研究棟（以上 11 会場）

(オンライン開催) 東京科学大学 (以上 1 会場)

(オンサイト・オンライン同時開催) 玉川大学 Human Brain Science Hall (以上 1 会場)

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンで、1993 年アメリカ合衆国での開催を皮切りに全世界に拡大し、我が国は 2000 年から参加。

(2) 広報活動 (公 2-2)

①研究成果報告の刊行：第 38 回塚原伸晃記念賞受賞者及び第 38 回研究助成受領者の研究報告を「ブレインサイエンス・レビュー2026」として編集・刊行した。

②ホームページの充実：公 1 および公 2 について実施予定およびその結果を速やかに公表し、公益目的事業としての透明性の確保を図った。

以上の当財団の公益目的事業はすべて対価を得ることのない事業であり、財源には寄附金及び公益事業目的で保有している金融資産の運用益を充てている。

また、当財団では公益目的事業の質を改善するための自主的な取組として、理事 5 名からなるワーキンググループを組織し、わが国の脳科学研究のさらなる発展に寄与するため、特に当年度は公 1 事業における公募時期の見直しや受領者の今後の研究活動に対するより効果的な支援方法を検討して理事会へ提案し、事業内容の積極的な改善を図っている。

II. 処務の概要

当法人は、ブレインサイエンス及びそれに関連する分野の学術研究に対する支援を行い、もって学術の発展に寄与するという目的の達成のため、当年度は以下の運営体制で事業を実施した。なお、運営体制のさらなる充実を図るため、次期役員より新たに外部理事・外部監事を選任しその役割を全うしてもらうための体制について、常務理事を中心にその運用方法を整備中である。

1. 役員に関する事項

(1) 理事及び監事

2026(令和 8)年 3 月 31 日現在の理事・監事は別紙記載のとおり。

(2) 理事会

2025(令和 7)年度第 1 回理事会 (2025(令和 7)年 5 月 15 日開催)

決議事項

①2024(令和 6)年度事業報告

②2024(令和 6)年度収支決算報告

③2024(令和 6)年度使途特定寄附金振替額について

④評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
報告事項

- ①2024(令和 6)年度会計監査執行の報告
- ②代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

2025(令和 7)年度第 2 回理事会 (2026(令和 8)年 2 月 16 日開催)

決議事項

- ①第 40 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 39 回国際交流助成の選考
- ②2026(令和 8)年度事業計画
- ③2027(令和 9)年度からの公募期間前倒しについて
- ④2026(令和 8)年度収支予算
- ⑤2026(令和 8)年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ⑥選考委員の選任について
- ⑦評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について

報告事項

- ①代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

2026(令和 8)年 3 月 31 日現在の評議員は別紙記載のとおり。

(2) 評議員会

2025(令和 7)年度定時評議員会 (2025(令和 7)年 6 月 5 日開催)

報告事項

- ①2024(令和 6)年度事業報告
- ②2024(令和 6)年度会計監査執行の報告

決議事項

- ①2024(令和 6)年度収支決算報告

2025(令和 7)年度第 1 回臨時評議員会 (2026(令和 8)年 3 月 4 日開催)

承認事項

- ①第 40 回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第 39 回国際交流助成の選考
- ②2026(令和 8)年度事業計画
- ③2027(令和 9)年度からの公募期間前倒しについて
- ④2026(令和 8)年度収支予算
- ⑤2026(令和 8)年度資金調達及び設備投資の見込みについて

3. 選考委員に関する事項

(1) 選考委員

2026(令和 8)年 3 月 31 日現在の選考委員は別紙記載のとおり。

(2) 選考委員会

2025(令和 7)年度選考委員会 (2026(令和 8)年 1 月 28 日開催)

協議事項

- ①第 40 回塚原仲晃記念賞受賞者の選考
- ②第 40 回研究助成受領者の選考
- ③第 39 回国際交流助成受領者の選考

4. 顧問に関する事項

2026(令和 8)年 3 月 31 日現在の顧問は別紙記載のとおり。

5. 事務局職員に関する事項

事務局長 小杉夏子

6. 登記に関する事項

なし

7. 寄附金に関する事項

寄附金収入額は 5,000,000 円 (企業 1 社より)

理事及び監事

(2026 (令和 8) 年 3 月 31 日現在)

代表理事	廣川	信隆	日本学士院会員・東京大学名誉教授
常務理事	板東	武彦	新潟大学名誉教授
	宮下	保司	日本学士院会員・東京大学名誉教授
理 事	飯野	正光	東京大学特命教授
	大隅	典子	東北大学大学院医学系研究科教授・ 日本学術振興会理事
	狩野	方伸	帝京大学先端総合研究機構特任教授
	津本	忠治	大阪大学名誉教授
	岩本 (吉村)	由美子	自然科学研究機構生理学研究所教授
	安田	啓一	本田技研工業株式会社執行職
監 事	伊藤	醇	公認会計士
	森澤	治郎	本田技研工業株式会社取締役常勤監査委員

評 議 員

(2026 (令和 8) 年 3 月 31 日現在)

評 議 員	井上	和秀	九州大学高等研究院特別主幹教授
	木村	實	玉川大学名誉教授・脳科学研究所特別研究員・ 京都府立医科大学名誉教授
	本間	さと	札幌花園病院睡眠医療センターセンター長
	三品	昌美	東京大学名誉教授

選考委員

(2026 (令和 8) 年 3 月 31 日現在)

委員長	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科教授・ 理化学研究所脳神経科学研究センターセンター長
委員	饗場 篤 伊佐 正	東京大学医学系研究科疾患生命工学センター教授 京都大学大学院医学研究科教授・ 自然科学研究機構生理学研究所所長
	磯田 昌岐	自然科学研究機構生理学研究所教授
	榎本 和生	東京大学大学院理学系研究科教授
	笠井 清登	東京大学大学院医学系研究科教授
	勝野 雅央	名古屋大学大学院医学系研究科教授
	上口 裕之	理化学研究所脳神経科学研究センター副センター長
	合田 裕紀子	沖縄科学技術大学院大学教授
	宮田 麻理子	東京女子医科大学医学部教授

顧問

(2026 (令和 8) 年 3 月 31 日現在)

川本 信彦	本田技研工業株式会社最高顧問
-------	----------------